

男子・龍野 8位 女子・龍野 8位 ともに近畿大会へ



男子・龍野の2区山本達稀選手(左)からたすきを受け取る3区木村昇太選手=いずれも丹波篠山市内(撮影・風斗雅博)

好走をつないで
見事な追い上げ

男子・龍野

○：男子・龍野は1区14位から徐々に追い上げて8位でフィニッシュ。1年生の活躍もあり、近畿のレースに向け自信をつけた。
5区吉川冬馬選手(1年)は東播磨とほぼ同時の9位でたすきを受けた。「少しでも差をつけたい」と区間5位の好走を見せ、リードを1分以上に広げた。

後輩の頑張りに6区筒井佑選手(3年)も呼応。タイムを昨年から10秒以上縮め、順位を8位に引き上げた。「地区大会に出られなかった悔しき、仲間への思いが力になった。次の舞台につながりよかった」と笑

顔で話した。

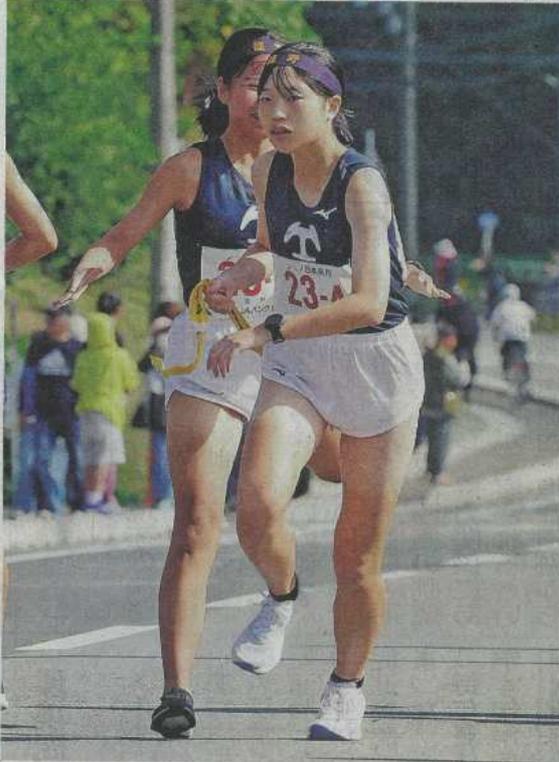
(秋山亮太)

役割しつかりと

8人で切磋琢磨

女子・龍野

○：女子・龍野は部員数が8人と少なくても、切磋琢磨した技術で上位の強豪に食らいつき、8位で近畿



女子・龍野の3区志水朱里選手(左)からたすきを受け取る4区岡田優月選手(撮影・笠原次郎)

大会出場をつかんだ。
1区綱井海咲選手(2年)は強い向かい風の中を突き

進んだ。「走ることを楽しめた」といい、地区予選から約1分タイムを縮めた。

2区平尾裕香選手(同)は7人抜き活躍を見せ、3区の志水朱里選手(1年)が区間5位の好タイムで後続にたすきを託した。
アンカー松沼杏奈主将(3年)は「それぞれ役割をしっかりと果たせた。次のレースに勢いがついた」と自信を見せた。

(秋山亮太)